



与那原町脱炭素に向けた取組

(令和4年8月17日 脱炭素に向けた町民勉強会資料)

令和4年8月
沖縄県与那原町





1. 応募の理由
2. 脱炭素先行地域への応募
3. 脱炭素先行地域の内容
 - ① エリアの設定
 - ② 課題の設定
 - ③ 実施内容
4. 今後のスケジュール

2. 脱炭素に向けた事業の目的

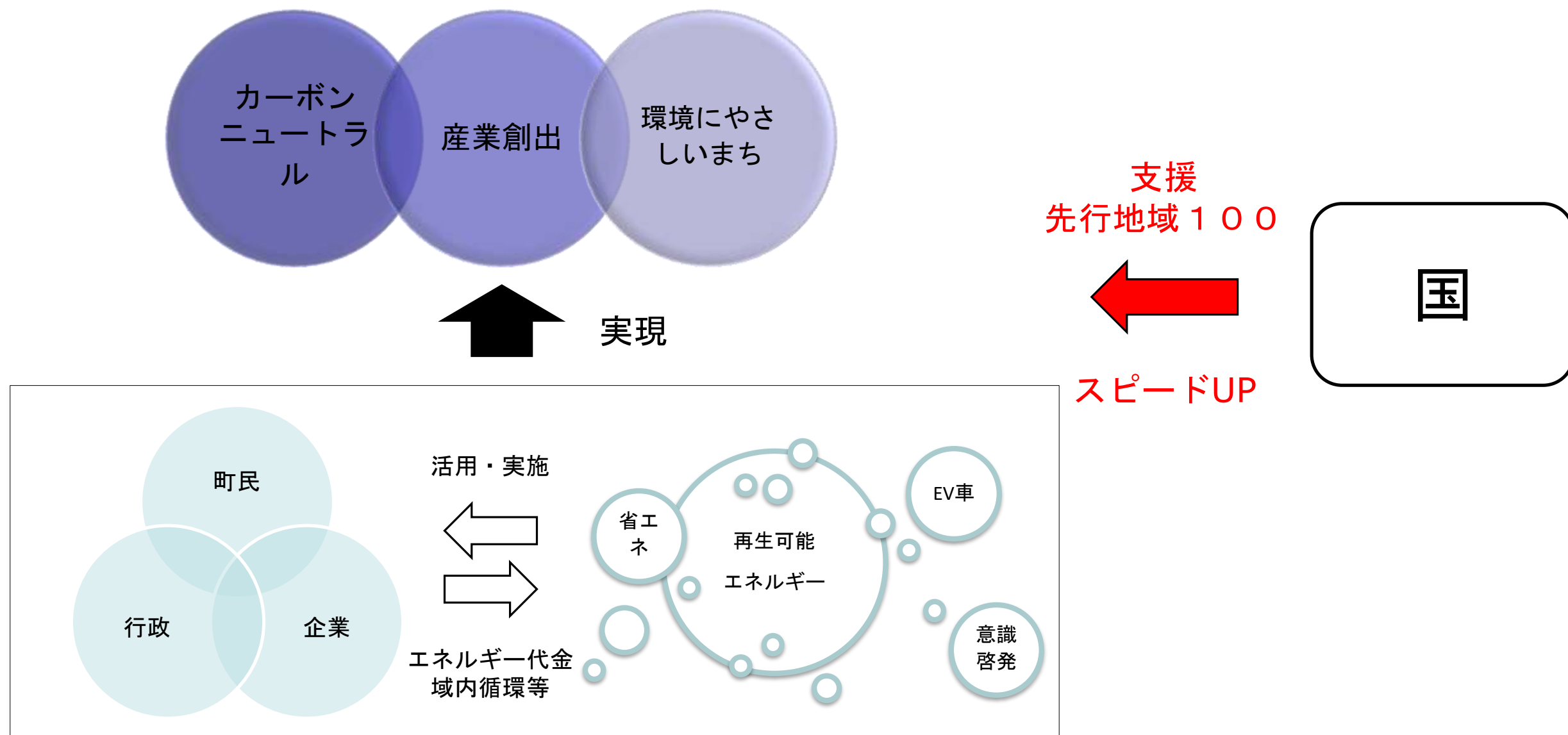


与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



次世代につながる持続可能なまちを創っていくため、また、本事業を通して新たな産業創出や稼ぐ力など経済効果を生み出すことを目指し、脱炭素に取り組んでいくこととしている。

実現のためには町民と行政、企業との連携協力が必要であり、また、国の支援を受けながらスピード感をもって実施していきたいと考えている。



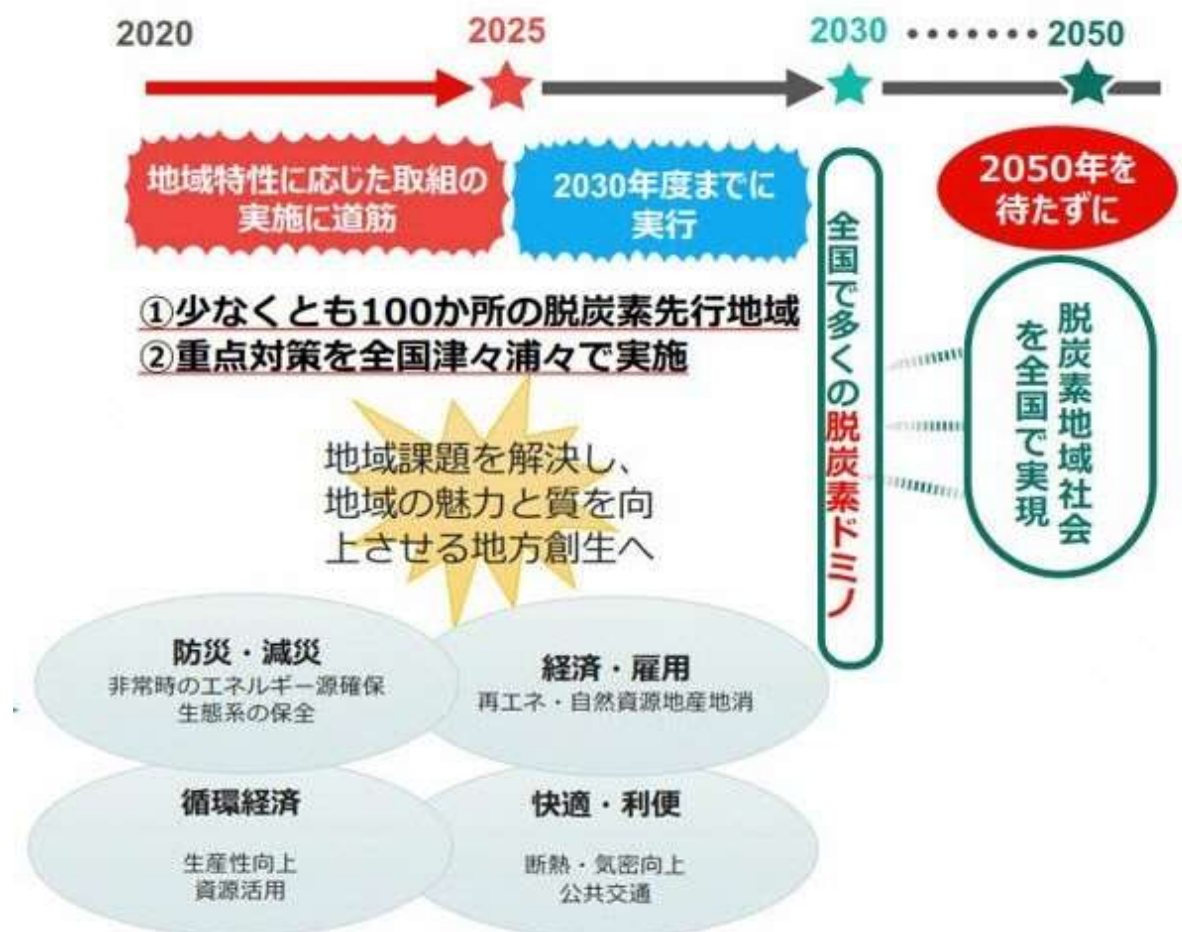


2. 脱炭素先行地域への応募

○国が脱炭素事業に意欲的に取り組む地方自治体等を複数年度にわたり継続的かつ包括的に支援するため、少なくとも100か所の「脱炭素先行地域」を選定するもの。

○選定された場合は、「地域脱炭素移行・再エネ推進交付金」による支援が行われる。

※令和4年4月26日
第1回脱炭素先行地域として
「全国26自治体」を選定。





3. 脱炭素先行地域の内容

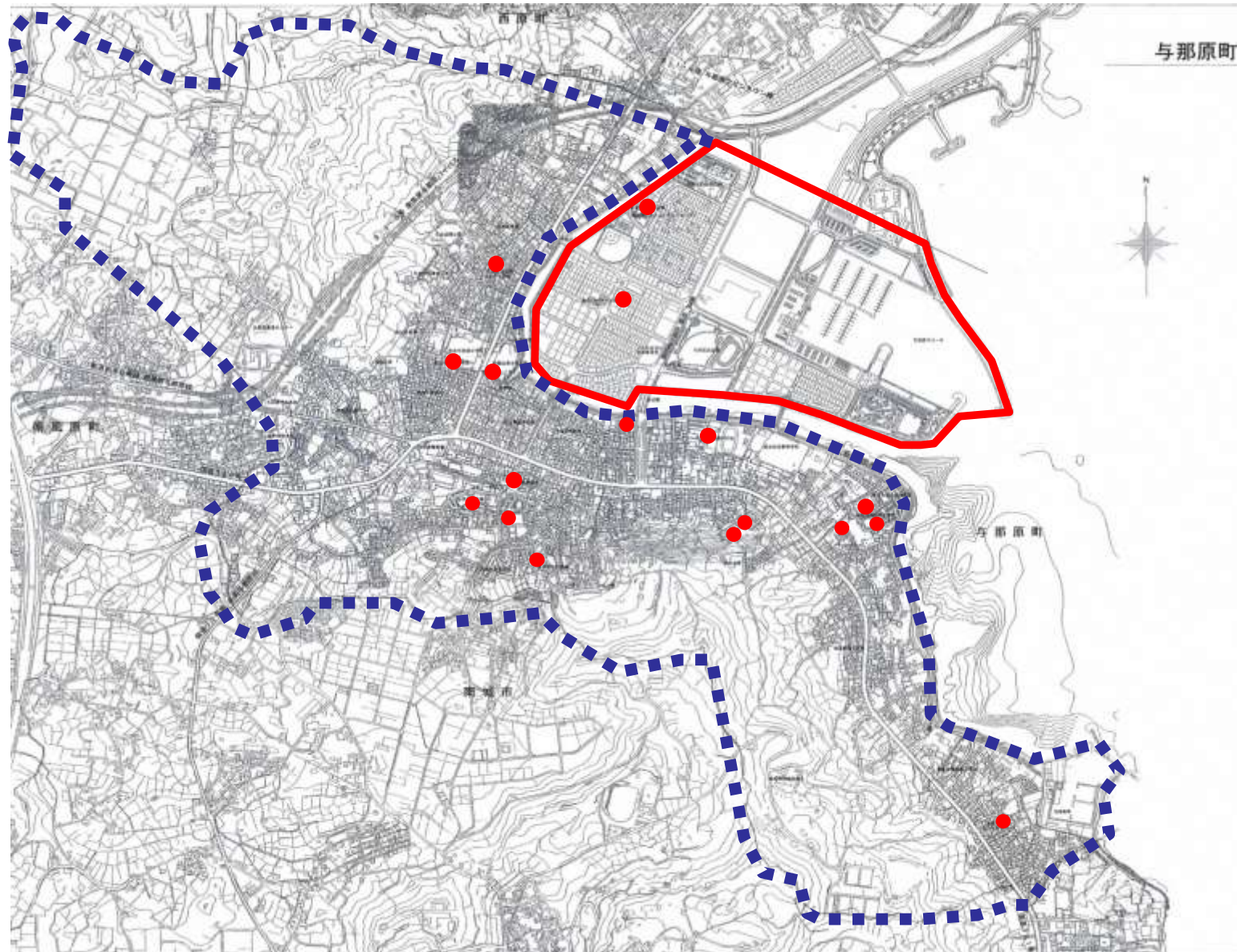
① エリアの設定

脱炭素先行地域では、ある一定地域の範囲を選定し、当該エリアの電力消費に伴うCO2排出0を実現する必要がある。

脱炭素を先行して重点的に取り組むエリアとして、
「マリンタウンエリア」と「町内公共施設群」を想定している。

○選定の主な理由

- ・世界中から集まるMICE施設が立地予定、脱炭素の「エリアまるごとショールーム」として世界中に発信することができる。
- ・新しい開発エリアであり太陽光施設の設置が可能な地域
- ・地域内に大学があり、例えばSDGsの学びとしての連携などにより、人材育成の拠点となり得る地域である。





3. 脱炭素先行地域の内容

① 地域課題の解決

脱炭素先行地域では、温室効果ガスの削減だけではなく、当該取り組みを通して、地域の課題の解決への取り組みを推進することとなっている。

ア. 温室効果ガスの排出（家庭部門排出量の割合が高い）

- ① 合計排出量 9 1 千t-CO₂
- ② 内家庭から排出される「家庭部門」が30%→全国及び県の平均より高い

イ. 稼ぐ力が弱く、地域経済循環が課題となっている

- ① 地域経済循環率59.6%→周辺地自体より低い結果
- ② 労働生産性：693.1万円/人→全国で1,206位（1,719市町村中）
- ③ 一人当たり所得：334.6万円→周辺自治体より低い
全国で1,706位（1,719市町村中）
- ④ エネルギー代金の流出：△21億円/年で赤字→赤字割合が大きい
- ⑤ 買い物等の消費が69億円流出→周辺自治体より流出額が大きい

（地域経済循環分析2015年度版（環境省）より）

○課題解決に向けた取組の方向

「温室効果ガスの削減」

「稼ぐ力の創出」

「地域のお金の流出を防ぐ」



3. 脱炭素先行地域の内容

① 地域課題の解決

今回の取り組みを通して、課題解決の解決を図りたいと考えている。

「温室効果ガスの削減」

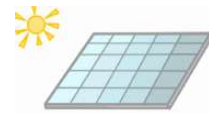
「稼ぐ力の創出」
「地域のお金の流出を防ぐ」

実現

実現

脱炭素に向けた取組

ア. 太陽光発電等再生可能
エネルギーの導入



イ. 電気自動車
の導入活用



ウ. 住民や企業等と連携した
省エネ化



エ. 日常生活での取組促進
(シビックプライドの醸成)



- ・ CO2 排出削減
- ・ 再生可能エネルギー導入

効果

効果

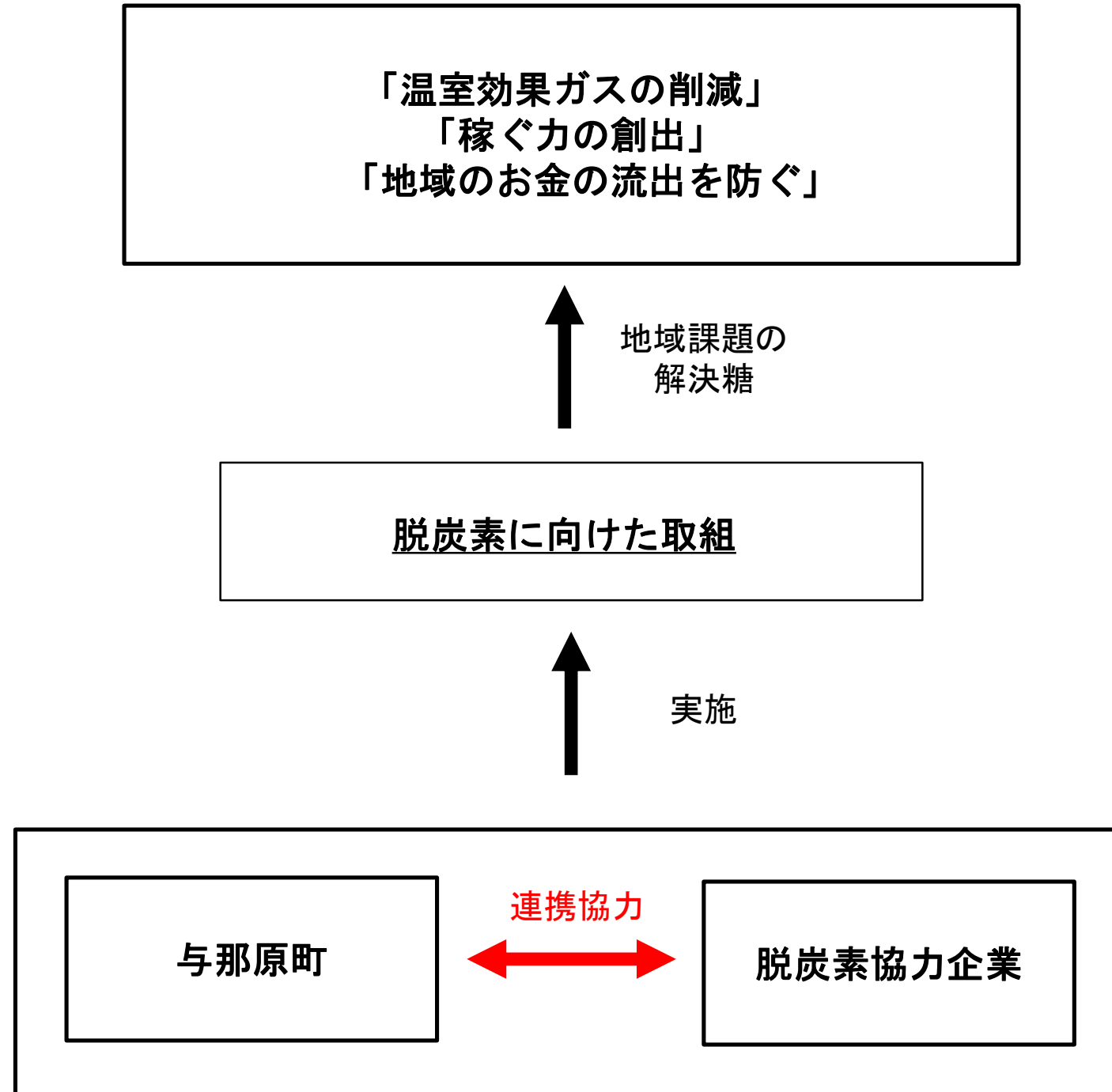
- ・ 地域内電力企業の育成
- ・ 再エネ産業の創出
- ・ 電気代等の域内循環
- ・ 雇用創出等の経済効果



3. 脱炭素先行地域の内容

② 実施体制

今回の取り組みでは企業等と連携して取り組むことで、課題解決に向けた実効性ある取り組みを実現することを目指している。



3. 脱炭素先行地域の内容

③ 実施内容

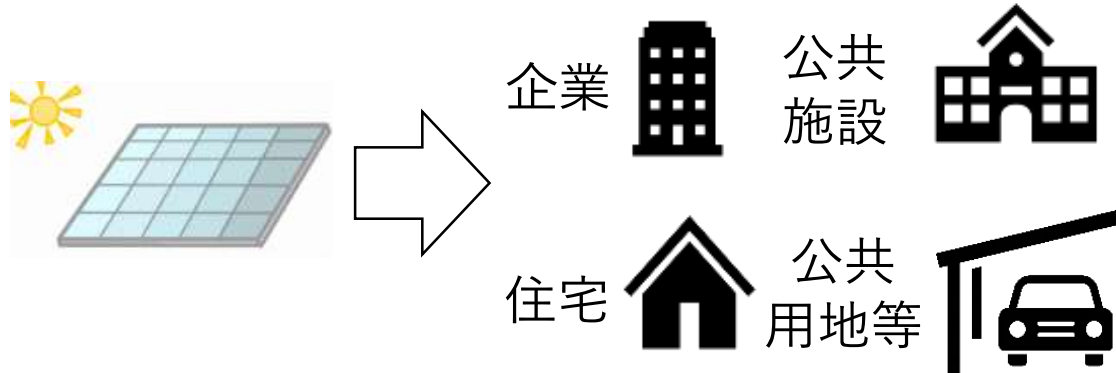


与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～

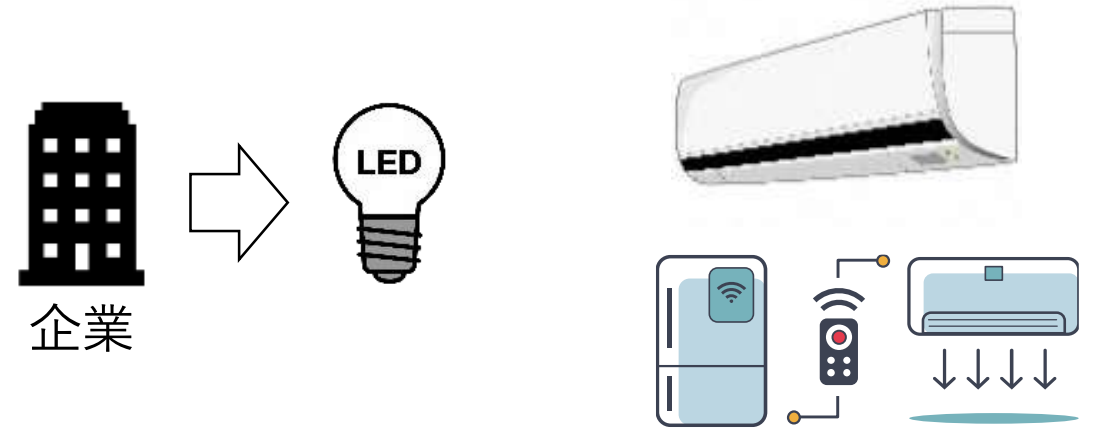


太陽光発電を中心とした再生可能エネルギーや省エネ等を活用した、地域脱炭素に向けた取組を検討している。

ア. 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入



ウ. 住民や企業等と連携した省エネ化



イ. 電気自動車の導入活用



エ. 日常生活での取組促進 (シビックプライドの醸成)



勉強会の開催
省エネの取組（企業・家庭）
働き方改革／エコ通勤
自動車プラスワン運動
夏休み自由研究題材の活用
生涯学習としての活用

3. 脱炭素先行地域の内容

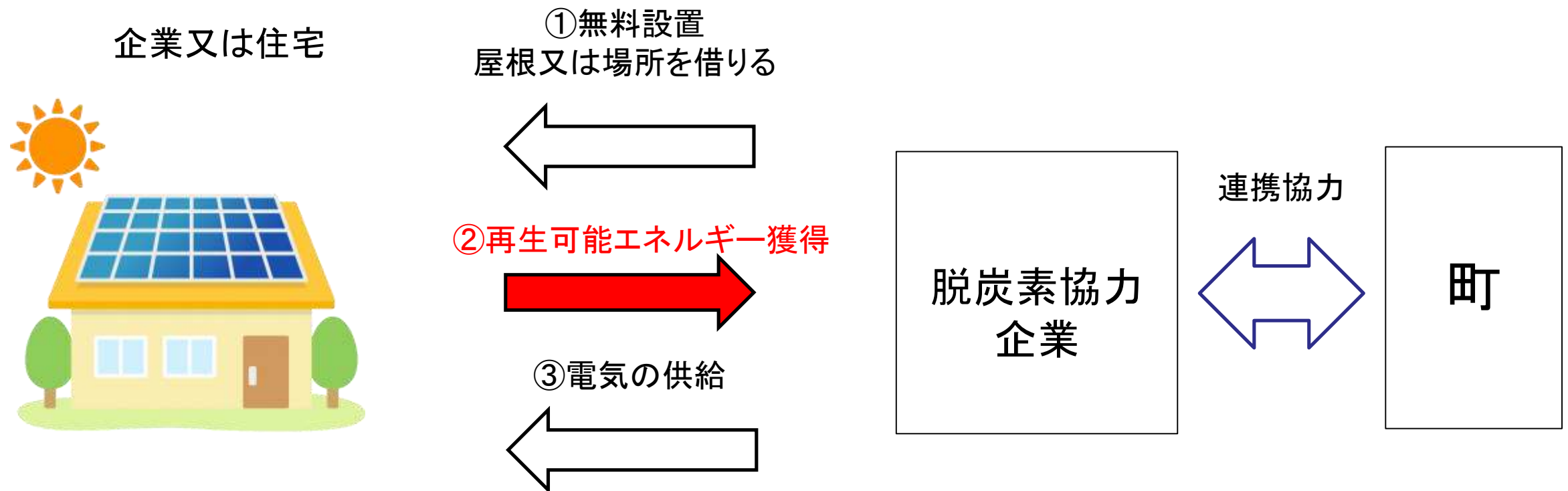
③ 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



ア. 太陽光発電による再生可能エネルギーの導入



○ 設置が想定される場所

- ・ 住宅屋根
- ・ 事業所の屋根
- ・ 公共の駐車場やスペース等

3. 脱炭素先行地域の内容

③ 実施内容



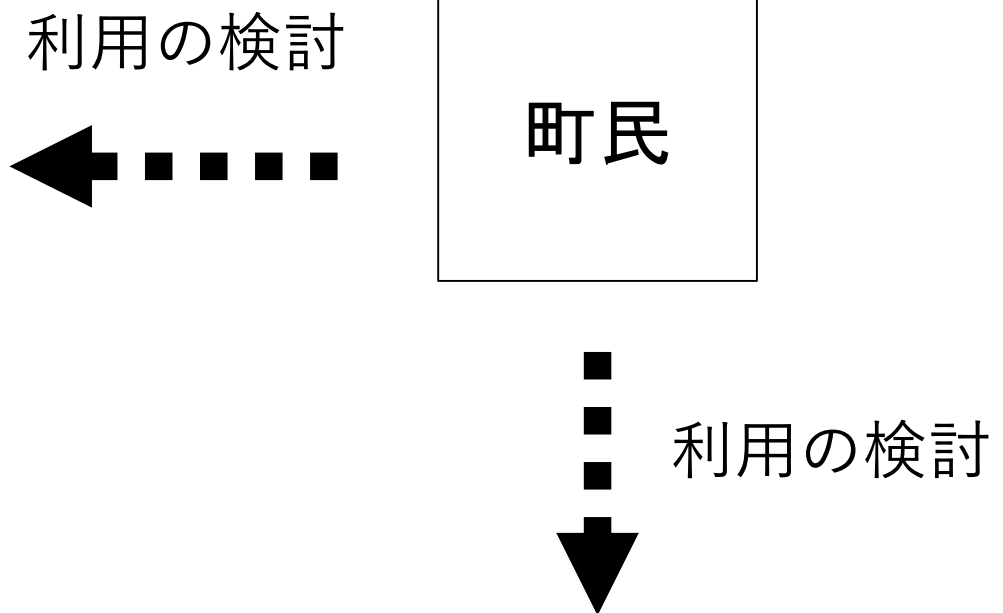
与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



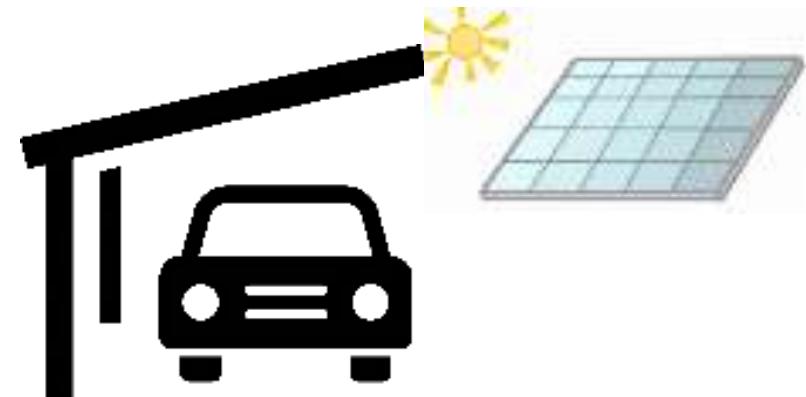
イ.電気自動車の導入活用



公用車のEV自動車化



- EV車の導入促進
- 再エネ由来の電気の充電施設導入等



ソーラーカーポート導入

3. 脱炭素先行地域の内容

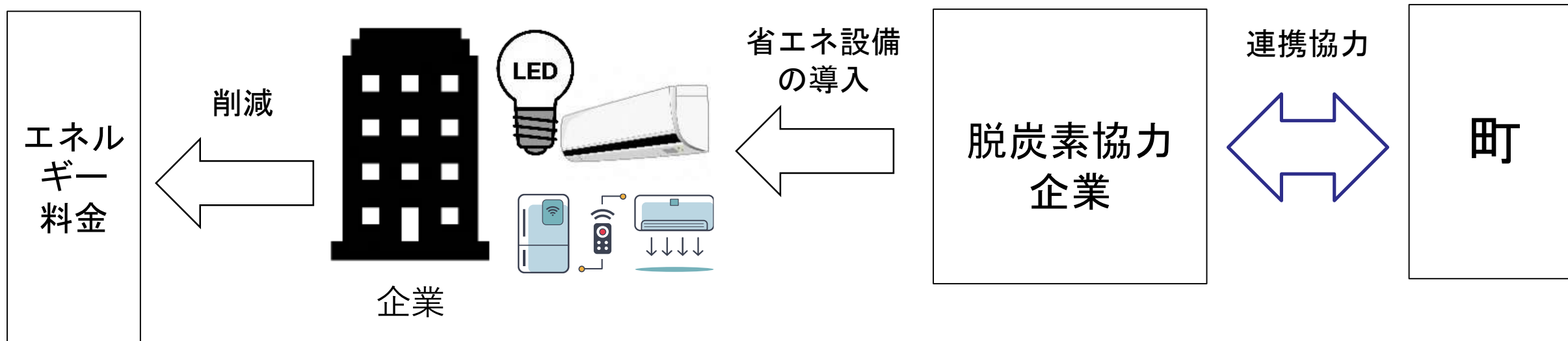
③ 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



ウ. 住民や企業等と連携した省エネ化



エ. 日常生活での取組促進（シビックプライドの醸成）



勉強会の開催
省エネの取組（企業・家庭）
働き方改革／エコ通勤
自動車プラスワン運動
夏休み自由研究題材の活用
生涯学習としての活用



3. 脱炭素先行地域の内容

② 実施内容



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ綱げて～



オ.その他技術を活用した再生可能エネルギーの導入検討

今後は太陽光発電だけではなく、風力、波力等を活用した新たなエネルギーの導入についても検討していきたいと考えている。



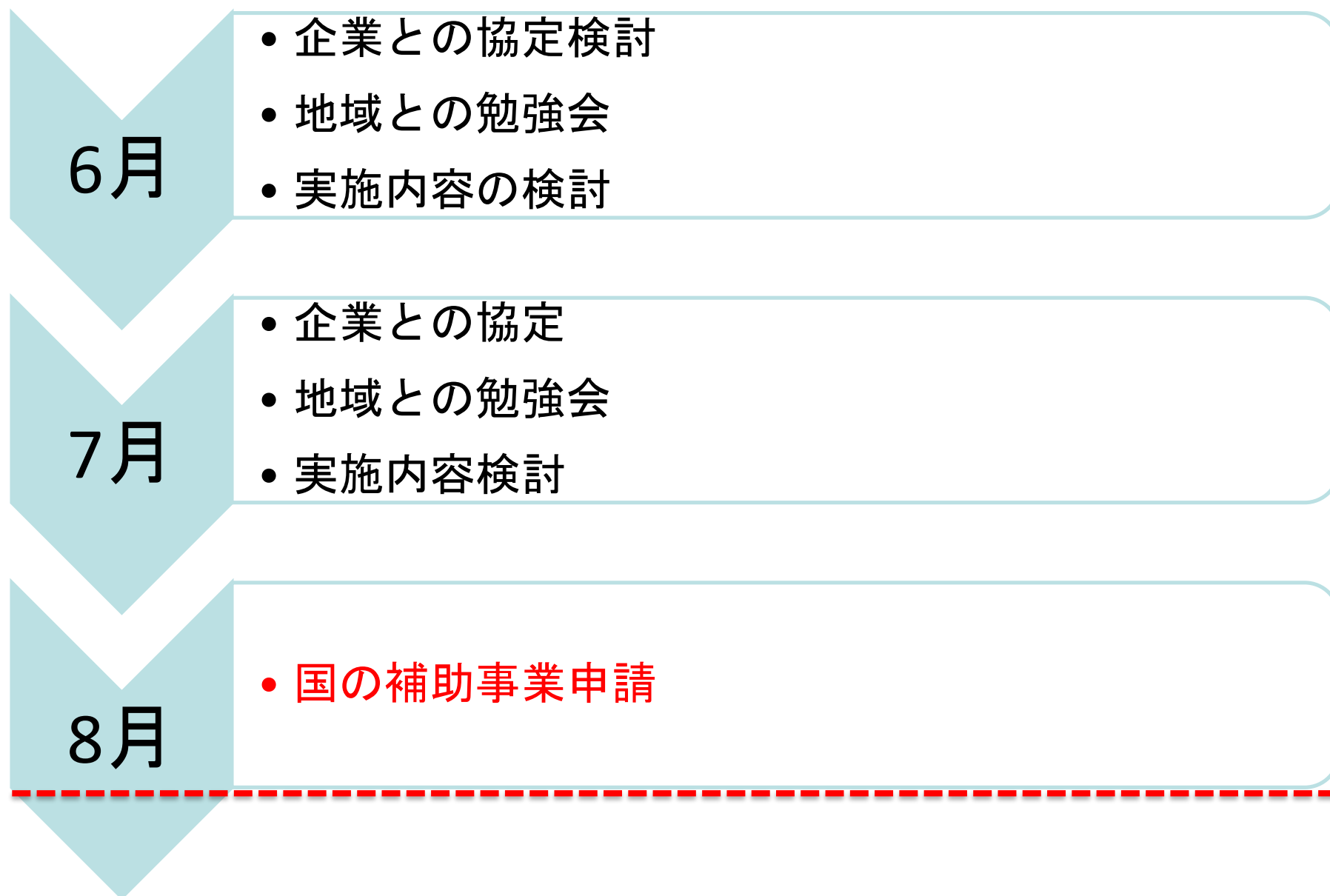
4. 今後のスケジュール



与那原町「みんなで創ろう 活気あふれる 美らまち与那原」～平和と文化・伝統を未来へ繋げて～



引き続き、地域の皆様との意見交換及び企業との連携を行い、実施内容を検討しその内容を基に、国への事業の申請を行う予定。



～**秋頃**先行地域の発表～
～具体的な取組の実施～